

会 議 録 (1)

| | |
|-----------------------|--|
| 会 議 の 名 称 | 第 2 1 回入間市地域公共交通協議会 |
| 開 催 日 時 | 令和 4 年 1 2 月 2 1 日 (水) 1 0 時 0 0 分 ~ 1 1 時 1 5 分 |
| 開 催 場 所 | 入間市役所 B 棟 5 階 全 員 協 議 会 室 |
| 議 長 氏 名 | 埼玉大学大学院理工学研究科環境科学・社会基盤部門 教授 久保田 尚 |
| 出席委員(者)氏名 | 別紙 1 のとおり |
| 欠席委員(者)氏名 | 別紙 1 のとおり |
| 説明者の職氏名 | 入間市都市整備部都市計画課 主査 高橋 佐知子 (司会) 主任 遠山 優 |
| 会 議 次 第 (公開・非公開の別) | 【公開】 別紙 2 のとおり |
| 非 公 開 理 由 | — |
| 傍 聴 者 数 | 1 名 |
| 配 布 資 料 | ・次第 ・資料-1 現行計画に対する評価 ・資料-2 公共交通の実態調査結果 ・資料-3 地域公共交通における現状と課題 ・資料-4 入間市地域公共交通計画の骨子 (案) ・資料-5 今後のスケジュール |
| 事務局職員職氏名 | 入間市 都市整備部 次長 吉野 敬司 " 都市計画課 課長 大津 征児 " " 主査 高橋 佐知子 " " 主任 遠山 優 |
| 会議録作成方法 | 要点筆記 |

会 議 録 (2)

議事の概要（経過）・決定事項

1. 開会

2. 議事

(1) 次期入間市地域公共交通計画の策定について

3. その他

(1) 今後のスケジュール

4. 閉会

会 議 録 (3)

| 発 言 者 | 発 言 内 容 |
|--|--|
| 1. 開会 | |
| 2. 議題 | |
| 事務局 関谷委員 事務局 梶山委員 | <p>(1) 次期入間市地域公共交通計画の策定について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料－1 現行計画に対する評価 ・資料－2 公共交通の実態調査結果 ・資料－3 地域公共交通における現状と課題 ・資料－4 入間市地域公共交通計画の骨子（案） <p>地域公共交通計画の計画期間を教えてください。</p> <p>令和5年度から令和9年度までの5年間とする。</p> <p>資料2について、以下の4点を質問したい。</p> <p>1点目は、資料2の公共交通の実態調査結果は、市のホームページ等、どこかで公表するものか。</p> <p>2点目は、今後は高齢化が進むため、高齢の方が市内の移動で利用しているコミュニティバスの需要増加が想定される。今回のデータにおいて、西武バスさんとコミュニティバスの運行の違いから、コミュニティバスの運行の参考になる点はなかったか。</p> <p>3点目は、17ページ目の「充実すべき移動手段」について、複数選択可能となっているが、複数回答の中で「徒歩」を選択した人は「鉄道」も選択する人が多い等、相関関係はあったか。また、複数回答であるため、バス全てに回答している人が多くなっていて、バスの回答がかさ増しされてしまっている等、ミスリードになっている可能性があるのではないか。</p> <p>4点目は、回答者の約半数は、バスを利用しない又はしたことがない方である中で、「コミュニティバスに対する考え」の設問に対して、回答者全員での分析を行っている。回答は「今より便利になるのであれば、多少運賃が上がってもよい」が最も多い結果であるが、利用している方だけでの分析も加えた方がよいのではないか。</p> |
| 事務局 | <p>1点目については、本日の資料や会議録とともに、市のホームページへ掲載する。</p> |

| 発 言 者 | 発 言 内 容 |
|-------|--|
| | <p>2点目については、今回の調査結果では、利用目的は得られているが、具体的な利用実態までは得られないため難しい。今後、施策の1つである「運行本数、ルート、ダイヤの見直し」の具体的な検討を行っていくにあたり、利用実態に関する詳細な調査を行い、利用者のニーズに合わせた運行を検討していく必要があると考えている。</p> <p>3点目については、今回は1人1人がどのような移動をしているかまでは調査をしていないため、パーソントリップ調査のような駅まで徒歩で歩き、鉄道に乗る等の実態までは分からない。一方で、バスの利用状況についての設問があるため、バスを利用していない人が、バス全てを選択している等の状況がないかの分析は可能である。詳細な分析を進め、改めて報告させていただく。</p> <p>4点目については、全体の回答と合わせて、利用者のみでの分析も加えることとする。</p> |
| 久保田会長 | <p>2点目の、西武バスさんとコミュニティバスの比較については、確かにコミュニティバスではできていない点もあると思われる。一方で、双方で利用目的が違うという点もあるため、それぞれの役割を踏まえたうえで、改善点を見つけられると良い。</p> |
| 久保田会長 | <p>資料4の骨子について、具体的な検討内容に「重点施策」とあるが、これは前回計画から引き継いでいて、重点施策となったものなのか。</p> <p>また、「前計画から新たに設定した施策」とあるが、具体的な内容や、追加した経緯について説明いただきたい。</p> |
| 事務局 | <p>重点施策は、前計画から引き継いでおり、より具体的に検討すべき事項として重点施策にしている。</p> <p>また、新たに設定した施策として、「新たな交通モードの検討」について、デマンドタクシーとは、利用者から事前に予約を受け、利用者の要望に対して運行する運行形態であり、上位計画においても検討すべき事項として示されている。一方で、既存の運行事業者との十分な調整も必要と考</p> |

| 発 言 者 | 発 言 内 容 |
|-------|---|
| 岩田委員 | <p>えることから、慎重な対応が必要となる。</p> <p>「バスロケーションシステムの導入」については、現在では多くの方がスマートフォンを所有しているため、アプリ等によりバスがどこを走っているかが分かるようなシステム等の導入を考えている。</p> <p>「EV 車両・FCV 車両の導入」については、ゼロカーボン・シティへの対応として設定している。FCV 車両とは、水素と酸素による燃料電池を用いた車両であり、EV 車両は羽村市がコミュニティバスを導入している。なお、導入に際しては、充電設備等の運行事業者側の環境整備等も必要となるため、運行事業者との調整を行いながら慎重に検討したい。</p> <p>「観光施策との連携」については、入間市に来訪された方の回遊性を向上させる施策の1つとして、観光部署と連携しながら、入間市の観光名所をめぐる新たなコミュニティバスの展開等の検討を考えている。</p> <p>骨子の事業に記載されている「利用促進策の実施」について、公共交通の実態調査結果ではコミュニティバスの運行内容をよく知らないと回答する方が多いと説明があったが、新たな施策としてコミュニティバスの周知に関する取組みはないのか。</p> |
| 事務局 | <p>これまでもコミュニティバスの利用促進に向けたイベントは継続して実施してきたが、利用実態調査の結果を踏まえ、利用促進策について、改めて検討し、委員の皆様へ回答させていただく。</p> |
| 関谷委員 | <p>骨子の「前計画から新たに設定した施策」については、重点施策となるのか。市民生活部では、来年の4月から13の公民館を9つの地区センターとし、残りの4カ所は令和10年度で閉館する計画としている。閉館に伴い、分館を利用する方の交通手段として、新たな交通手段の検討を一緒に進めていただきたいと考えている。</p> |
| 事務局 | <p>「新たな交通モードの検討」については、重点施策となるかについても含めて検討させていただく。</p> |
| 梶山委員 | <p>コミュニティバスの認知について意見があったが、それに付随して、目</p> |

| 発 言 者 | 発 言 内 容 |
|---|--|
| 事務局 西野委員 事務局 | 標の指標値へ認知度を加えてはどうか。 検討させていただく。 資料2のコミュニティバスを利用しない理由に関して、設問が複数回答可能であり、「バスを利用しなくてもよいから」と「運行内容をよく知らないから」の両方に回答している方は、説明の中でもあったように乗る必要がないから調べていない可能性もある。「運行内容をよく知らないから」と回答した方の属性について詳細に分析し、利用促進を行うターゲット層を明確にした方が良いのではないか。 分析を行う。 |
| 3. その他 | |
| 事務局 久保田会長 事務局 | (1) 今後のスケジュールについて説明 ・資料-5 今後のスケジュール 庁内パブコメは、本日の資料4を用いて行うのか。 庁内パブコメは、現在並行して作成を進めている地域公共交通計画（素案）へ本日の協議会の意見を反映し、実施する予定である。その後、市民の方へのパブリックコメントと、委員の皆様への送付を予定している。 |
| 4. 閉会 | |
| 議事のとん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。 令和5年1月20日 議 長 の 署 名 <u>久保田尚</u> 議長が指名した者の署名 <u>藤原康之</u> | |

第21回入間市地域公共交通協議会

開催日: 令和4年12月21日(水)

| 区分 | 機関名 | 職名 | 氏名 | 出欠 |
|----|------|------------------|----------------------------|-------------|
| 1 | 1号委員 | 西武鉄道㈱ | 鉄道本部計画管理部鉄道計画課 マネージャー | 岩 澤 貴 顕 × |
| 2 | | 西武バス㈱ | 取締役 | 山 内 智 矢 ○ |
| 3 | | 西武ハイヤー㈱ | 業務部長 | 藤 原 康 之 ○ |
| 4 | | 丸大観光㈱ | 代表取締役 | 齋 藤 栄 作 × |
| 5 | | 松葉交通㈱ | 代表取締役社長 | 松 原 緑 × |
| 6 | | 一般社団法人埼玉県バス協会 | 専務理事 | 関 根 肇 × |
| 7 | | 一般社団法人埼玉県乗用自動車協会 | 事務局長 | 藤 田 貢 × |
| 8 | 3号委員 | 国土交通省関東運輸局埼玉運輸支局 | 首席運輸企画専門官 | 小 川 ゆ か り × |
| 9 | | 国土交通省大宮国道事務所 | 副所長(技) | 木 住 野 誠 ○ |
| 10 | | 埼玉県 | 企画財政部交通政策課交通企画・ バス担当主査 | 西 野 利 彦 ○ |
| 11 | | 埼玉県飯能県土整備事務所 | 道路環境部長 | 遠 藤 照 夫 × |
| 12 | | 埼玉県警狭山警察署 | 交通課長 | 山 戸 正 則 ○代理 |
| 13 | 4号委員 | 公 募 | 園 部 な つ 子 | × |
| 14 | | 公 募 | 梶 山 記 央 | ○ |
| 15 | 5号委員 | 埼玉大学大学院 | 理工学研究科 環境科学・社会基盤 部門 教授 | 久 保 田 尚 ○ |
| 16 | | 埼玉大学大学院 | 理工学研究科 環境科学・社会基盤 部門 准教授 | 小 嶋 文 × |
| 17 | | 株式会社サポートエクスプレス | 代表取締役 | 飯 島 勲 × |
| 18 | 6号委員 | 西武バス労働組合 | 執行委員長 | 小 河 憲 司 ○ |
| 19 | 7号委員 | 豊岡地区区長会 | 豊岡地区区長会会長 | 丹 下 敦 子 ○ |
| 20 | | 東金子地区区長会 | 東金子スポーツ協会幹事 | 塚 原 と み 子 ○ |
| 21 | | 金子地区区長会 | 元金子地区区長会長 | 双 木 茂 芳 ○ |
| 22 | | 宮寺・二本木地区区長会 | 元宮寺・二本木地区区長会長 | 伊 東 勇 ○ |
| 23 | | 藤沢地区区長会 | 藤沢地区交通安全母の会会長 | 齋 藤 勝 子 ○ |
| 24 | | 西武地区区長会 | 元西武地区第8区区長 | 茂 木 保 孝 ○ |
| 25 | 8号委員 | 入間市 | 企画部長 | 岩 田 正 博 ○ |
| 26 | | 入間市 | 環境経済部長 | 原 嶋 裕 子 ○ |
| 27 | | 入間市 | 市民生活部長 | 関 谷 佳 代 子 ○ |
| 28 | | 入間市 | 福祉部長 | 市 川 一 博 ○ |
| 29 | | 入間市 | 都市整備部長 | 平 沼 宏 之 ○ |
| 30 | 2号委員 | 計画内容により委嘱 | | |

第 2 1 回 入間市地域公共交通協議会

日時:令和4年12月21日(水)10時00分～

場所:市役所 B 棟 5 階全員協議会室

一 次 第 一

1 開 会

2 議 題

(1)次期入間市地域公共交通計画の策定について

- ・現行計画に対する評価 (資料 1)
- ・公共交通の実態調査結果 (資料 2)
- ・地域公共交通における現状と課題 (資料 3)
- ・入間市地域公共交通計画の骨子(案) (資料 4)

3 その他

(1)今後のスケジュール (資料 5)

4 閉 会